

# 「とっとり評判記」

最終回

なんでも

## 市町村合併と新しい鳥取市



やまびこ博士

こだまちゃん

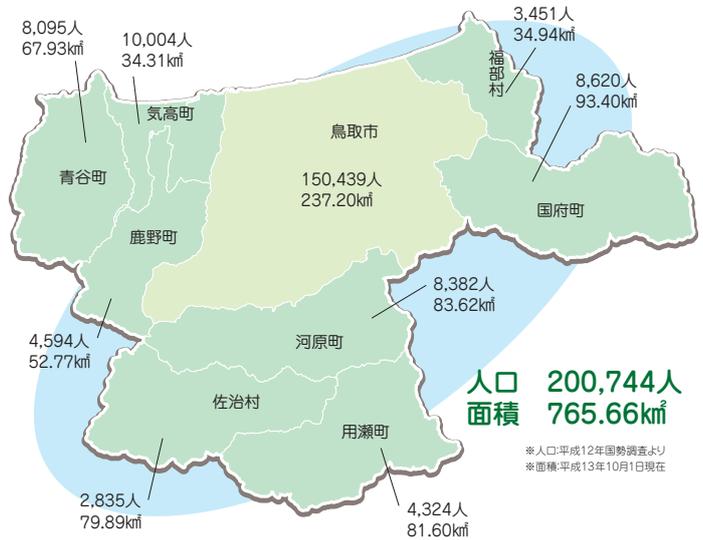
【凡例】



年月	面積	備考	年月	面積	備考
明治 22・10	6.61 km <sup>2</sup>	市政施行	昭和 12・3	45.12 km <sup>2</sup>	賀露村編入
大正 12・5	10.75 km <sup>2</sup>	富桑村編入	28・7	219.44 km <sup>2</sup>	神戸村ほか一帯村編入
昭和 7・4	21.82 km <sup>2</sup>	稲葉村編入	30・7	227.39 km <sup>2</sup>	米里村編入
8・4	34.82 km <sup>2</sup>	中ノ郷村編入	38・4	237.25 km <sup>2</sup>	津ノ井村編入
8・10	40.11 km <sup>2</sup>	美保村編入			

図1 従来の鳥取市

『鳥取市90年の歩み』(昭和55年)より作成



人口 200,744人  
面積 765.66km<sup>2</sup>

※人口:平成12年国勢調査より  
※面積:平成13年10月1日現在

図2 これからの鳥取市

**やまびこ博士**: いよいよ来月、市町村合併が実施され、鳥取市がひとまわり大きくなります(図2)。

**こだまちゃん**: うわあ、大きい! 人口も今よりはずいぶん増えるのね。

**やまびこ博士**: 面積が大きい分、人口密度はあまり高くはならないけどね。鳥取市は、最初江戸時代の城下町を中心に市となり、その後も合併をくり返して今の姿になってきた(図1)。今度の合併もまた、未来に続いてゆく。これからの鳥取市がどのように変わってゆくの、楽しみだね。

**こだまちゃん**: 鹿野町や国府町など、合併する地域にも、歴史を感じさせるものや美しい風景がたくさんありますよね。

**やまびこ博士**: 鳥取市は、これまで以上に「評判になるもの」のたくさんあるまちになる。

**こだまちゃん**: 博士も研究することがたくさんできて、大変ですねー。

**やまびこ博士**: それはとても楽しみなことでもあるんだよ。ところで今日は、こだまちゃんにあげたいものがあるんだ。

**こだまちゃん**: えー、何だろう。

**やまびこ博士**: わしの大事な自転車じゃよ。これ

で時間旅行をしていたんだが、いつかこだまちゃんに譲ってあげようと思っていたんだ。

**こだまちゃん**: えー、こんな大きくて古い自転車、わたし乗れませんよ?

**やまびこ博士**: 大丈夫、すぐにうまく乗りこなせるようになるさ。

**こだまちゃん**: でも、博士はどうするんですか?

**やまびこ博士**: いやいや、どこかに行ってしまうわけではない。だけど、こだまちゃんもそろそろ、自分で問題をみつけて、自分で調べて、自分で解決する練習をしないとね。

**こだまちゃん**: えー。

**やまびこ博士**: ということで、まず自転車の乗り方から練習しよう!

「鳥取なんでも評判記」は今回で最終回です。

長らくのご愛読有り難うございました。

またいつかどこかでお会いしましょう。



【佐々木孝文(鳥取市歴史博物館学芸員)】

～おわびと訂正～

先月号の「なんでも評判記」で、参考文献の著者・「芦村 登志雄」先生の名前に誤りがありました。お詫びするとともに訂正いたします。